

## トピックス



大阪市北区天満橋 1-8-75 桜ノ宮合同庁舎

TEL 050-3160-6763

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

## 学校教育の現場で使ってもらいたい「森林環境教育手引書〈小学校編〉」の改訂について

### 【箕面森林ふれあい推進センター】

箕面森林ふれあい推進センターでは、小学校向けの「森林環境教育手引書」を平成24年に作成し、管内2府12県の教職員等の皆様に活用していただきました。このような中、平成28年度に小学校の学習指導要領が持続可能な社会の実現に向けて現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力の育成を重視するよう改訂され、令和2年度から全国の学校現場で実施されることとなりました。このため、私たちの「森林環境教育手引書」も新たな学習指導要領に対応させるべく、外部有識者、教職員で構成する「森林環境教育手引書改訂検討委員会（委員長京都教育大学山下宏文教授）」を設置し、検討を重ね、令和3年度に新たな手引書を取りまとめていただきました。



今回の手引書は、「生活科」、「社会科」、「理科」、「図画工作科」の4教科の補助教材として、授業やフィールドで活用できるよう、教科ごとにプログラム（授業展開例）を掲載しています。

また、新たな特徴として、それぞれのプログラムについて、学習指導要領との関連付け、「各テーマの目標」を明確にし、授業を通じて育成すべき子どもたちの資質と能力を提示するなど、森林環境教育に携わる教職員の皆さんが分かりやすい内容となっています。

当センターでは、作成したこの手引書を教育現場で広く役立てていただくために、管内の各府県及び各市町村の教育委員会へ配布しているほか、Webサイトにも掲載しています。

さらに、6月25日（土）に森林環境教育の重要性について幅広く発信するために、「森林環境教育手引書活用フォーラム」を開催することとしています。

当センターでは、「森林環境教育手引書」以外にも、国有林をフィールドとしたオリジナルの環境教育プログラム「森の探検隊」の作成、森林環境教育に関心のある教員向け研修の実施、子どもたちに森林の魅力を伝えることを目的とした創作紙芝居及び絵本の作成などにも取り組んでおり、引き続き、NPO等が行う野外活動や森林環境教育などを支援するため、関係機関と連携しながら取り組んでまいります。

# 「市町村ニーズを踏まえた国有林の支援について～国有林における市町村支援メニュー～」を公表しました。

## 【企画調整課】

2019年（平成31年）度から始まった「森林経営管理制度」は、手入れの行き届いていない森林について、市町村が自ら森林所有者から経営管理の委託を受け、林業経営に適した森林は地域の林業経営者に再委託して経営管理を集積・集約するとともに、自然的条件が悪く林業経営に適さない森林は市町村が公的に管理することで、林業の成長産業化の実現と森林資源の適切な管理の両立を図る制度です。

民有林において市町村の担う役割がますます重要になるなか、近畿中国森林管理局では、組織に蓄積された知見や技術、フィールドを活用しながら市町村に対する技術的な支援に取り組んでいます。この度、具体的な支援策をまとめた「市町村ニーズを踏まえた国有林の支援について～国有林における市町村支援メニュー～」を改訂し公表しました。下記のホームページに掲載していますので、市町村職員をはじめ、一般の皆様も是非ご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/kikaku/saisei.html>



目次	
<b>森林・林業の基礎について</b>	
◆ 森林・林業の基礎知識を知りたい	1
◆ 国有林の森林整備事業を知りたい	2
<b>森林・林業の技術について</b>	
◆ 森林調査のICT化に取り組みたい	3
◆ 国有林の造林・保育の低コスト化（新しい林業）等の取組を知りたい	4
◆ 国有林の試験研究等を知りたい	5
◆ 里山広葉樹林の取扱いを知りたい	6
<b>国有林との連携について</b>	
◆ 森林計画（市町村森林整備計画等）の作成を支援してほしい	7
◆ 市有林の整備と木材の搬出や販売に困っている	8
◆ 地域の林業従事者を育成したい	9
<b>シカ被害対策について</b>	
◆ シカ被害に困っている	10
◆ 国有林と共同でシカ被害対策に取り組みたい	11
◆ シカ防護柵の設置方法を知りたい	12
<b>災害対応について</b>	
◆ 近年頻発する山地災害に対し支援をお願いしたい	13
◆ 豪雨災害等による林道被害に対し支援をお願いしたい	14
◆ 自然災害発生時に資機材の提供をお願いしたい	15
<b>森林（もり）とのふれあいについて</b>	
◆ 次世代を担う子ども達に、森林の素晴らしさを体感させたい	16
◆ 国有林を観光に活用したい	17
◆ 貴重な森林を見学したい	18
問い合わせ先	19

### Question

## 森林・林業の基礎知識を知りたい

### Answer

➤ 国有林が実施する内部研修の聴講等ができます。

### 【支援ツール】

- 森林の見方、森林の収穫等の基礎的な知識の習得、国有林での現場実習など国有林の若手職員を対象とした研修を聴講できます。（直接参加、Web参加を選択）
- 地域の森林管理署等が市町村担当者の「知りたい」「聞きたい」「見てみたい」ことなど、個別の要望に対してサポートします。（かゆいところに手が届く対応）

### 研修カリキュラム等のメニュー

- 森林環境教育実践研修  
森林環境教育等の実践技術の習得
- ドローン操作技術者育成研修  
ドローン操作及び利用の基礎知識や最新かつ詳細な現場情報を安全に取得・加工利用するための知識と技術の習得
- 森林の見方及び育成研修  
森林施業、植生関連、造林・育林関連の基礎的な知識及び技術の習得



研修写真（森林の見方）



研修写真（標準地調査）



研修写真（ドローン操作）

「小林式誘引捕獲法」考案者の小林氏が農林水産大臣賞を受賞しました。

【保全課】

6月2日（月）、令和4年度優良職員等表彰の表彰式が農林水産省大臣室で行われ、当局計画保全部保全課保護係長 小林 正典氏が農林水産大臣賞を受賞し、金子農林水産大臣から表彰状が授与されました。

受賞内容は、初心者でも簡単に罠を設置でき捕獲効率も高い、新たな野生鳥獣（シカ、イノシシ）の捕獲方法である「小林式誘引捕獲法」を考案・普及し、農林業の重要改題である獣害対策に貢献した実績が高く評価されたものです。



金子農林水産大臣と小林氏（右）

近畿中国森林管理局では、今後もシカ等の野生鳥獣による農林業への被害低減に資するため、各地での現地検討会や研修会等を通して「小林式誘引捕獲法」の普及に努めてまいります。



金子大臣との握手



大臣室での受賞の様子

新たな捕獲技術（小林式誘引捕獲）については、当局ホームページで紹介しています。

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sodateyou/171225.html>



広島国際大学の学生の皆さんが豪雨災害復旧事業について学びました

【広島森林管理署】

5月17日（火）、広島森林管理署山地災害対策室は、広島県東広島市黒瀬区域の民有林直轄治山事業現場において、広島国際大学保健医療学部救急救命学科の学生51名に対し復旧事業について説明しました。



大学生に事業説明

広島国際大学は、平成30年7月豪雨により大規模に山腹崩壊した現場に近接するとともに、救急救命学科の学生は、いのちの危機を救う適切な判断力と救急救護のスキルを日々磨いていることから、今回初めて授業の一環として山腹崩壊地の見学の見学がありました。



山腹崩壊地の見学

普段は、治山事業の現場を目にすることが少ないため、大学付近で発生した豪雨災害の被害状況と復旧事業を知ってもらうことで、治山事業に関する知識や防

災意識の向上に役立ててもらえたと思います。

また、「元の森林の状態に戻るにはどれくらいの期間がかかるのか」「崩れる前に防ぐための工事などもあるのか」「復旧作業中に災害が起きないように工夫はしているのか」などたくさんの質問があり、自然災害に対する関心の大きさを改めて知ることができました。

今秋には、当現場において、広島国際大学の学生による植樹を予定しており、今後も、治山事業を通じて東広島市の安全・安心に貢献していけるよう取り組んでまいります。

## ニュース

『第36回県民みどりの祭典』に出展しました。

## 【石川森林管理署】

4月29日（金）、石川県森林公園の緑化の広場において、県主催の「第36回県民みどりの祭典」が開催されました。本祭典は、緑化活動を通じた健全な青少年の育成や県民全体で支える森林づくりの推進を図ることを目的に、「みどりの月間」にあわせ、石川県における県民参加の森づくりの中心的な行事として毎年行われています。

当日は、約1,000人の参加者が来場し、盛況を見せました。会場には県内のみどりに関係する15の団体のブースが設置され、当署のブースでは、間伐などにより伐採された広葉樹の輪切りに様々な絵を描くオリジナルのキーホルダー作りを中心に能登ヒバのおがくず配布、国有林のパンフレット配布、治山事業の説明のパネル展示を行ないました。



石川森林管理署のブース

キーホルダーを作った小学生は友人らとキーホルダーの出来ばえなど様々なことを話し合いながら楽しそうに参加していました。

また、能登ヒバのおがくず配布では、キーホルダー作りと異なり、主に大人の方が関心を持たれ、木の香りを嗅ぎながら効能などの説明に熱心に耳を傾けていました。

当署では今後もこのような催しに積極的に参加することで、国民の皆様には森林、林業や木材について知り、身近に感じてもらう機会を提供してまいります。

地域イベント「今庄そばまつり」で木工クラフトなどをおこないました。

## 【福井森林管理署】

5月22日（日）、南越前町のJR今庄駅周辺にて「第35回今庄そばまつり」が開催されました。

今年には国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された今庄宿で開かれ、今庄地区の集落や団体による10店舗のそば店のほか、たこやき・ソフトクリーム等軽食や飲み物を扱う模擬店も多く出店されていました。メインのそば店では、長い行列ができて、用意されていた6,000杯のそばが全て完売し、食べられなかった来場者もいるほどの盛況となりました。

福井森林管理署では国有林・林業のPRのため、「手作りの木製スマートボール」や「木工クラフト」などが体験できるブースを出店し、家族連れなどで40組を超える来場者がありました。

スマートボールは未就学児から高校生まで多くの方に挑戦していただきましたが、タテ・ヨコ・斜めのいずれか1列に並べて穴に入れるのが意外と難しく、何度もチャレンジする方もチラホラ見受けられました。

木工クラフトでは、ドングリや松ぼっくりを使った自慢の力作ができあがり、世界に一つしかない作品を大事そうに持ち帰っていました。当署ではこれからもイベント等を通じて国有林・林業のPRと木の良さや木に親しみを持ってもらえるように取り組んでまいります。



スマートボールを楽しんでいる来場者

## お知らせ

「水都おおさか森林の市 2022」を3年ぶりに開催します。

## 【技術普及課】

○開催日時

令和4年10月23日(日)10時00分から15時30分まで

○開催場所

毛馬桜之宮公園・近畿中国森林管理局(桜ノ宮合同庁舎)

○開催内容

「水都おおさか森林の市 2022」では、大阪府下の行政機関や地域関係者、NPO、地元企業等との連携・協力の下、木を使った日本の文化に多面的に触れる機会を提供することで、子どもから高齢者まで、広く市民の皆様に森林づくりや地域材の利用推進に関する普及啓発及び理解の醸成を図ることを目的としています。



水都おおさか森林の市 2019 の様子

出展は、森林の恵み、木の良さ等を五感で体験できる内容及び農山村地域の魅力とともに、日本の伝統的な「森林文化」を伝える内容となっていますので是非、観に来てください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/koho/event/morinoichi/index.html>



## 森林のギャラリー(局庁舎1階)

## 【技術普及課】



6月13日(月)～7月8日(金)の展示は京都府、多賀森林循環事業協同組合、岡山県鏡野町です。展示内容は下記の局ホームページでお知らせしています。

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sitasimou/gallery/index.html>



## 【技術普及課】

○近畿中国局フォレスターニュースを発行しています。

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/sidou/foresuter/katudou.html#> 近畿中国局フォレスター NEWS



## 【箕面森林ふれあい推進センター】

○令和4年度「森林ふれあい推進事業」のイベント実施団体等を募集中です。募集期間は令和4年7月29日(金)までです。

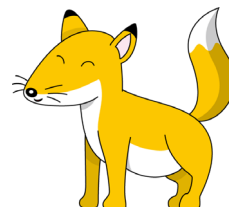
[https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/apply/publicsale/minoo\\_fc/20220426.html](https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/apply/publicsale/minoo_fc/20220426.html)



## 【三重森林管理署】

○大杉谷国有林からの手紙(55通目)を発行しています。

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/mie/oosugitegami.html>



## 花草木

### 【エノキ】

エノキ（榎、朴樹、学名：Celtis sinensis）は、アサ科エノキ属の落葉高木です。別名では、ナガバエノキ、マルバエノキともよばれるようです。大きな緑陰を作るため、ケヤキやムクノキなどとともに各地の一里塚や神社仏閣に植栽され、その巨木が今日でも見られます。樹形はケヤキよりも横に大きく広がります。

和名「エノキ」の由来については諸説あり、①縁起の良い木を意味する「嘉樹（ヨノキ）」が転じてエノキとなった。②秋にできる朱色の実は野鳥などが好んで食べることから、「餌の木」からエノキとなった。③枝が多いことから枝の木（エノキ）と呼ばれるようになった。などの説があるそうです。

木材としての利用は、建築用材、家具材、道具材、薪炭などに使われます。木材の質はやや堅く、辺材と心材の境が明瞭ではありません。風合いが似ていることから、ケヤキの代用にもされるそうです。

〔備考〕オオムラサキやゴマダラチョウの幼虫の食餌木です



市内で見つけたエノキです

## 我が署のスタッフ

広島森林管理署

辻村 学（つじむら まなぶ）（令和3年度採用）

### 【現在取り組んでいる仕事は？】

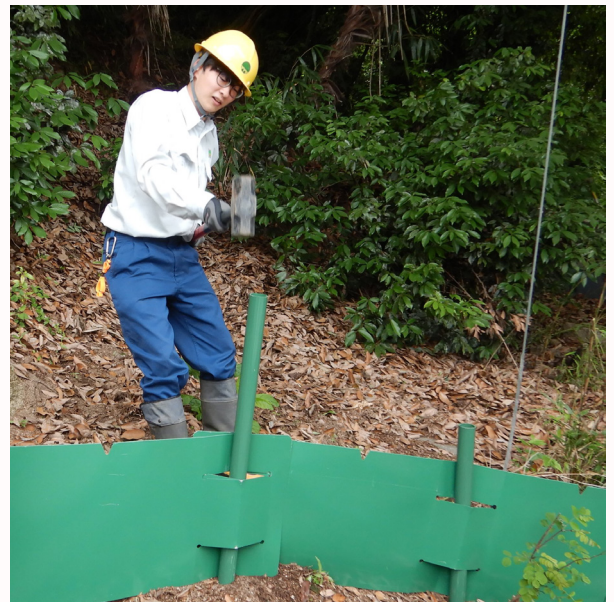
私は総務グループの管理担当として国有林の貸付や入林届、伐採等の同意などの事務に携わっています。地元から要望を受けることも多く、まだまだうまく対応できないことが多いですが、地域の方々に関われる点に魅力を感じます。地元の方が何を求めているかを把握し、要望に即した対応ができるよう努力しています。

### 【職場の雰囲気は？】

穏やかな雰囲気の職場で、自分の意見を尊重していただけています。気軽に話しやすく、意思疎通がしやすいので楽しく仕事ができています。

### 【林野庁の魅力は？】

自らのフィールドを持っていることに魅力を感じます。自分たちが直接活動できる範囲があるので現場で様々な業務に携わられています。そのためデスクワークと現場仕事の両方があり、気分転換になります。



地元からの要望を受け、簡易な土砂止めを設置している様子

## 森林事務所紹介

### 白峰森林事務所 (石川森林管理署)

森林官 武田 尚之 (たけだ なおゆき)

白峰森林事務所が管理する国有林は、石川県の岐阜県と福井県境沿いに所在し、面積は 14,167ha になります。面積の約 90% がブナやナラを主体とした天然林でもあるため、国有林の約 75% が白山国立公園に指定されています。



市ノ瀬\*からの残雪が残る白山

\*市ノ瀬は、別山への市ノ瀬道白山釈迦岳への釈迦新道などの起点で、ビジターセンターや一軒宿の白山温泉永井旅館などが在ります。

取り組んでいます。

現在 (5 月下旬) は、国有林管理の要となる林道の落石・倒木・落枝の除去や横断溝清掃など融雪後の維持管理作業を実施しています。事業が少ないため優先順位も低いので人力作業でまだ残雪もあり大変ですが、近隣事務所の応援を得ながら十分安全に注意しながら作業を行い、適切な国有林管理が出来るよう作業を進めています。

白山は、霊峰白山とも呼ばれ 2,100 年前から信仰の対象とされ、平成 29 年には白山開山 1,300 年目の年を迎えました。また登山人気も高くコロナ過であっても令和 3 年度の登山者数は約 5 万 3 千人になりました。

当事務所の業務は、国有林の多くが天然林であるため、近年の事業は少なく巡視などの管理業務を主としています。特に登山道が通る区域については、適切な管理が必要となるため注意を払って巡視をしています。さらに国立公園内においては、オオバコなどの外来植物が登山道を中心に繁茂しているため、白山自然保護官事務所や県自然保護センター及び自然保護団体などと共に除去作業に



外来植物の駆除の様子



林道の横断溝の清掃



林道上の落石の除去

# シリーズ『国有林 最前線！』

## ～世界遺産「古都奈良の文化財～春日山原始林」の奥に佇む石窟～

### 奈良森林管理事務所

世界遺産「古都奈良の文化財」を形成するひとつである「春日山原始林」の南東に隣接する地獄谷国有林には、史跡名勝天然記念物（大正13年12月9日指定）である『地獄谷石窟仏』と『春日山石窟仏』のふたつが存在しています。



左から薬師如来、中央盧舎那仏（釈迦、弥勒説も）、右十一面観音

『地獄谷石窟仏』が彫られている場所は、「聖人窟」とも呼ばれ、かつては山伏（聖）が住んでいたともされ、奈良時代の後半もしくは平安時代頃に彫られたものとされており、凝灰岩をくり抜いた石窟の内部には奥の壁に3軀、手前右壁に1軀の仏さまが線刻され、彩色が美しく残されています。



説明看板



比較的保存状態の良い地藏菩薩立像



説明看板

また、『春日山石窟仏』は、別名「穴仏」とも言われ、合計18軀の石仏（一部は風化などで事実上失われているものもある）が彫られています。

この地は東大寺大仏殿を建立するために堀取った「石切り場」の跡ともされ、興福寺大乘院の僧（山伏）が岩窟に籠もって彫刻したとも、石工が彫り上げたとも言われています。

奈良森林管理事務所では、雨水等による劣化からこの石窟仏を保護するため

に覆屋と金網を設置し、管理しています。また、10数年前から毎年、奈良県等文化財保存担当機関（奈良県文化財保存課、奈良市教育委員会、奈良県立橿原考古学研究所）と当所との共同作業として、現状把握・調査及び清掃を実施しています。

更に、地獄谷国有林は「世界文化遺産貢献の森林」や木造文化財建造物の修復用材を200～400年かけて育成する国民参加の森林づくり「春日奥山古事の森」にも設定しており、古都奈良にふさわしく、「木の文化」を守り育てる活動も積極的にを行っています。



調査する奈良県等文化財保存担当者



清掃する当事務所職員